

秋田県立比内支援学校の校舎改築について

平成28年3月10日
特別支援教育課

1 概要

比内支援学校については、施設の老朽化が激しいこと、肢体不自由など多様な障害を併せもつ児童生徒の受け入れへの設備対応が必要なことなどから、現在進めている第二次秋田県特別支援教育総合整備計画に基づき、校舎の改築整備に着手する。

2 学校の現状

- ・昭和49年学校創立、校舎は築42年目であり老朽化が進行
- ・現在、児童生徒数は88名で、今後も約90名を推移
- ・高等部の入学者数の増加により、教室数が不足し、特別教室等の転用で対応
- ・障害の重度・多様化に伴い、車いす使用や自閉症などに配慮した設備が必要
- ・高い就職率の維持に向けた職業教育と生活自立支援機能の充実が必要

3 学校改築における基本方針〔詳細：別紙 改築基本構想 概要〕

県北地区（大館・北秋・鹿角）における特別支援学校の中心校として、一層の充実を図る。

〈学校の特色〉

- ①職業的自立を目指した特別支援学校
- ②多様な障害への対応が可能な学校
- ③地域と共に歩む学校
- ④特色ある学校行事と地域行事への積極的な参加を推進する学校

4 施設整備内容

- ・現在の敷地内に新校舎等を建設する。
- ・現在の校舎施設を活用しながら整備する。
- ・現在のグラウンド、農場は現状維持とする。

5 整備スケジュール（予定）

- | | |
|-----------|------------|
| 平成28～29年度 | 基本設計及び実施設計 |
| 平成30～33年度 | 校舎等建設工事 |

比内支援学校校舎改築基本構想 概要

秋田県教育委員会

〈目的〉 県北地区（大館・北秋・鹿角）における特別支援学校の中心校として一層の充実を図る

〈現状〉 老朽化及び教室等不足、近年求められる障害の多様化への施設・設備等の課題

- ・昭和49年創立（42年目） → 〈課題〉安全面・健康面への配慮大
- ・高等部生徒（地域の中学校からの入学）増加：平成21年度以降2倍 → 〈現状〉特別教室等の転用高い就職率（6割）の維持に向けた職業教育と寄宿舎における生活自立支援機能の充実が必要
- ・障害の重度、多様化（知的障害のほか、肢体不自由（15%）、発達障害を併せもつ（12%））
→ 〈課題〉車いす使用、医療的ケア対象、情緒不安定児童生徒への安全な学習、生活環境の配慮大

〈特色〉 1 職業的自立を目指した特別支援学校、就職率60%以上を達成（維持）する学校

◎学校及び地域の特色を生かした職業教育の推進（定期職場実習、専門家による指導導入）

◎本物（質）の作業学習の実践（地域企業との連携、製品化）

〈作業種〉	農産物の生産、加工、販売（J A、地域農業法人との連携）
農園芸	*米、きりたんぼ、米粉菓子 *豆類（大豆、小豆、枝豆）→豆腐、味噌、菓子 *漬物
木工	*花（栽培、販売、地域の花壇整備、プランター設置） *学校バラ園開設
陶芸	地域の専門家や地場産業との連携
縫製	*曲げわっぱ *杉製品 *陶器（受注） *縫製（受注） *染物（校地内草花活用）
サービス	地域資源の活用
	*ハチ公カフェ（大館市大町商店街） *清掃（地域の公共施設、温泉、老人施設等）

実践的な
作業学習
室の設置

◎寄宿舎における生活自立支援機能の整備～将来の自立生活に向けた生活指導の充実

2 多様な障害への対応が可能な学校

肢体不自由、自閉症等を併せもつ知的障害児童生徒に対応した学習環境 ⇨ 個別指導、自立活動
バリアフリー化

3 地域と共に歩む学校

学校周辺地域との継続的な交流活動と地域貢献活動の拡充

4 特色ある学校行事と地域行事への積極的な参加を推進する学校

全校田植え・稲刈り、達子森登山ロードレース（年5回）、達子森の夏祭り、大館きりたんぼ祭り、比内とりの市等

「自立と社会参加」を目指して

地域の特別支援学校、特色ある教育課程（教育活動）の推進